

**2020年度第1回アジア政経学会理事会
議事録**

【日時】：2020年6月6日（土）13：00-14：24

【会場】：Zoom ミーティングルーム

【議長】：高橋理事長

【出席者】：青山、阿古、阿南、石塚、磯崎、遠藤、大庭、加茂、川島、倉田、小嶋、佐藤、清水、鈴木、高橋、唐、中岡、中溝、益尾、松田、三重野、渡邊（※以上理事、敬称略）、園田、丸川（※以上監事、敬称略）

【欠席者】：三宅（※理事、敬称略）

13:00、高橋理事長が開会を宣言。理事、監事ともに定数を満たしているため、本理事会が有効に成立する旨、併せて宣言された。その後、議案の審議に入った。

審議事項

1. 2019年度事業報告について（高橋）

高橋理事長より、2019年度の事業報告が行われた。審議の結果、満場異議なく承認された。

2. 2019年度決算、貸借対照表など（加茂）

加茂理事より、2019年度の会計報告が行われた。また監査より、会計処理が正しく行われていることが確認された。審議の結果、一部修正の上で決議承認された。

3. 監査報告（園田、丸川）

園田、丸川両監査より、令和元年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計画書、収支計算書および付属明細書を含む関連書類について監査したところ、その内容が適正かつ正確なものであることが報告された。

その上で、丸川監査より、今後対応すべきいくつかの留意点が示された。

4. 優秀論文賞について（川島）

川島理事より、選考委員会として、李素軒会員「資本自由化以降の韓国における二つの外貨流動性危機の比較分析」『アジア研究』65巻1号（2019年1月）および今村祥子会員「統

治と謀略 — インドネシア・スハルト体制における「謎の銃殺」事件」『アジア研究』65 巻 3 号（2019 年 7 月）の二つの論文を、第 17 回アジア政経学会優秀論文賞として表彰することとしたい旨、報告された。また、今回は、選定委員会の投票が同数であったこと、2 論文の地域・ディシプリンが異なるため優劣をつけがたいこと、および双方ともに日本のアジア研究の将来の方向性を示すものであることから、第 1 回以来 2 回目となる 2 論文同時受賞としたい旨、付け加えられた。審議の結果、全会一致で承認された。

5. 入会者・再入会者・復会者・休会者・会費優待者の承認（小嶋）

小嶋理事より、入会申請者 3 名、休会申請者 5 名、退会申請者 4 名（逝去者 1 名）、会費優待申請者 4 名につき、いずれも必要な要件を満たしていることが報告された。審議の結果、いずれの申請も承認された。

報告事項

1. 春季大会書面開催について（青山、渡邊）

青山、渡邊両理事により、初の書面開催となった春季大会が、おおむね順調に実施されている旨、報告がなされた。

2. 『アジア研究』編集進捗状況（大庭、遠藤、倉田）

大庭、遠藤両委員より、『アジア研究』の編集作業がおおむね順調に進んでいる旨、報告があった。

3. 定例研究会について（佐藤、阿古、清水）

佐藤理事、阿古理事、清水理事より、5 月 17 日に実施された初のオンライン研究会が成功裏に実施された旨、報告された。また、懇親会でさらに議論を深めることができにくい等のデメリットはあるものの、通常より多くの参加人数を得られ、討論も活発に展開されたこと等のオンライン化のメリットも実感されたこと、併せて報告された。

4. 樫山セミナーについて（中溝）

中溝理事より、2020 年度樫山セミナーの準備状況につき、報告がなされた。

14:24 に高橋理事長が閉会を宣言し、審議を終了した。

以上

2020 年 月 日
一般財団法人アジア政経学会 定時理事会

議長

高橋伸夫



議事録署名人 (監事)

丸川知雄



議事録署名人 (監事)

岡田 茂人

